



2020年5月29日

各 位

会社名 株式会社シーティーエス
代表者名 代表取締役社長 横 島 泰 蔵
(コード番号：4345 東証第一部)
問合せ先 執行役員 経理財務部長 北 原 巻 雄
(TEL. 0268-26-3700)

現場端末システム「Samurai PAD II」発売開始のお知らせ

当社は、GPS振り向き機能オプションプログラム「Samurai サーチ」を搭載した現場端末システム「Samurai PAD II」の発売開始につきまして、別紙のとおりお知らせいたします。

現場端末システム「Samurai PAD II」発売開始のお知らせ

株式会社シーティーエス（本社 長野県上田市、代表取締役社長 横島泰蔵）は、GPS振り向き機能オプションプログラム「Samurai サーチ」を搭載した現場端末システム「Samurai PAD II」を2020年5月より発売を開始しました。

1. 概要

「Samurai PAD II」は、当社独自の多機能電子野帳「Mr. Samurai CALS/i」シリーズの後継機となります。GPS振り向き機能オプションプログラム「Samurai サーチ」の搭載に加え、本体ハードにタブレット端末を用いることで操作性・視認性を高めております。

2. 導入メリット

(1) 振り向き装置なしで自動追尾トータルステーションによるワンマン測量が可能

トータルステーションによるワンマン計測には、自動追尾タイプのモータードライブトータルステーション（以下、MDTS）と「360°プリズム」、「振り向き装置」が一般的でしたが、GPS振り向き機能オプションプログラム「Samurai サーチ」搭載により、「360°プリズム」、「振り向き装置」を使わなくても、ワンマン測量が可能になります。また、組み合わせるMDTSは自動追尾タイプ、自動視準タイプどちらでも可能ですので、より安価な組み合わせでのワンマン測量が可能となります。

(2) GNSSによるワンマン測量が可能

VRS・RTKによる、GNSSを活用したワンマン測量が可能となっており、広域の現場など、機材移動が多く発生する現場においては作業効率を大幅に改善できます。

(3) i-Constructionに対応

ハードウェアには7インチの液晶画面を搭載したパナソニック製 TOUGH PADを採用しており、3Dデータを見やすく表現することが可能です。面データとして作成したLandXML（設計ファイル）を取り込んで観測することで、i-Constructionにおける検査にも有効です。

3. 発売開始

2020年5月

4. 問い合わせ先

(1) 本製品の導入に関する問い合わせ先

株式会社シーティーエス 測量計測事業統括部 営業推進チーム
〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目2番7号 楠本第18ビル7F
TEL: 03-6756-9687

(2) その他の問い合わせ先

株式会社シーティーエス 経営企画部
〒386-0005 長野県上田市古里115
TEL: 0268-26-5070

以上

ワンマン観測からi-Constructionまで、簡単操作で すぐに使える！土木現場仕様の多機能タブレット！



現場端末システム

Samurai PAD II

自動追尾トータルステーション、GNSS、 一般トータルステーションに接続可能！

現場の用途に合わせて
効率的に観測！

簡単接続！
すぐに観測へ！



※GNSS観測は、RTKもしくはネットワーク型RTK-GNSS(VRS方式)による観測になります。

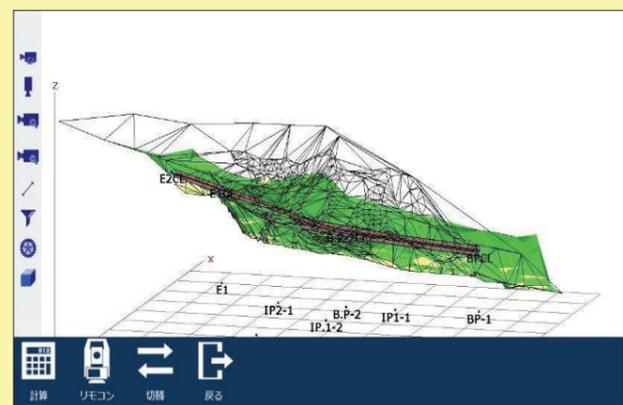
進捗管理からi-Construction検査まで 3Dビューによる視覚的にわかりやすい表示が可能に！



面のデータとして作成したLandXML
(設計ファイル)を読み込み、観測することで
設計との差が表示されます。
施工途中の**進捗管理**や、
i-Constructionの検査に最適です。

※LandXMLファイルの線形データには対応していません

3D表示が可能に!!



現場ですぐに使える簡単操作！高機能な現場端末システム

簡単に振り向き・ワンマン測量の強い味方

サムライサーチの活用でワンマン測量

端末に内蔵されたGPSを
使用して、自分のいる方向に
MDTS本体を振り向かせることが
できる「Samuraiサーチ」を搭載。



「Samuraiサーチ」による振り向き→「自動追尾」
→「観測」というワンマン測量ができます。

※衛星の状況による誤差のため、振り向きの精度が悪い場合は
「リモートコントローラー」機能で振り向きができます。



サムライサーチの詳細な動画をご確認
いただけます

<https://youtu.be/RG6m6QitvHY>

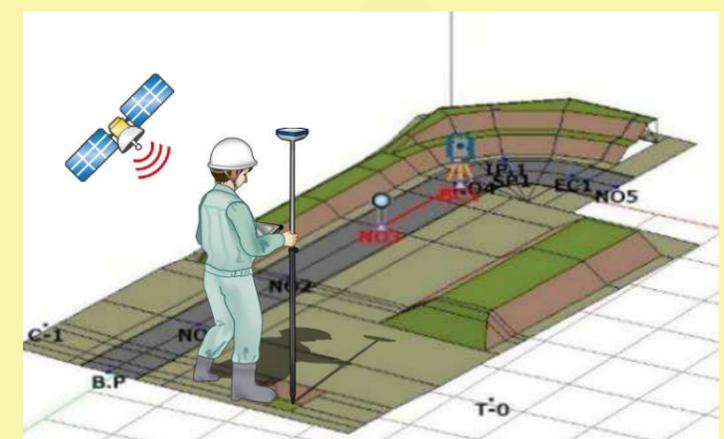
GNSS測量で効率化・省人化

GNSSの活用でワンマン測量

広い現場、トータルステーションだと盛替が多くなる
現場などGNSS測量が威力を発揮します。

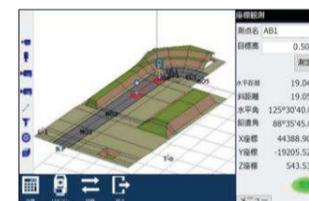
VRS・・・GNSS受信機1台で観測。
(別途VRS配信サービスが必要です。)

RTK・・・GNSS受信器1台を基準点、もう1台を
移動局として観測します。



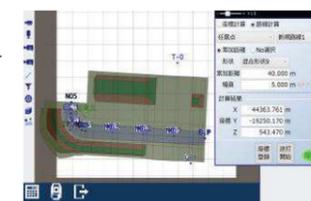
座標観測

座標観測は、TSとGNSS受信機
に対応。簡単に任意点の座標値
を求めることができます。



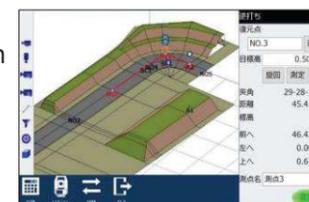
路線観測

路線SIMA、もしくはXMLを読み込む
ことにより路線内のどこでも幅杭を杭打
ちすることが出来ます。
事前に幅杭の座標計算をする必要が
なく、現場の効率化を実現します。



逆打ち

杭打ち点と現在の位置との差は、
ミラーマン目線で「右(左)へ〇〇m
前(後ろ)へ〇〇m」と動く方向を
ガイドします。
3次元座標の場合は、「上下」の
ガイドも可能です。



TS出来形

国土省の推進する「TS等光波方式
を用いた出来形管理」に従った出来形
管理ができます。
基本設計データファイルを読み込み、
出来形観測や立合検査での誤差確認
と計測したデータの記録ができます。

